

さに苦しめられた。

②申込受け付け事務を行った学会事務室では、電話での申込が殺到して、対応に追われた。参加者は当初予定した人数（70名程度）をかなり上回り、講堂の収容人数ぎりぎりの盛況であった。この人数では、もし講堂が使用できない事態が発生して他の部屋を

使わざるを得ない場合は、とても入り切れない。次回からは、あらかじめ定めた募集人数の枠を守るために、例えば申込者の中から抽選で参加者を選定して、その後に受講料を徴収するなどの工夫をする必要がある。

（教育と普及委員会）

---

### 日本気象学会寄付者御芳名

1994年11月、下記の会員から寄付がありましたので、お礼を兼ねて報告申し上げます。

記

村上多喜雄

---